Operation Guide 675

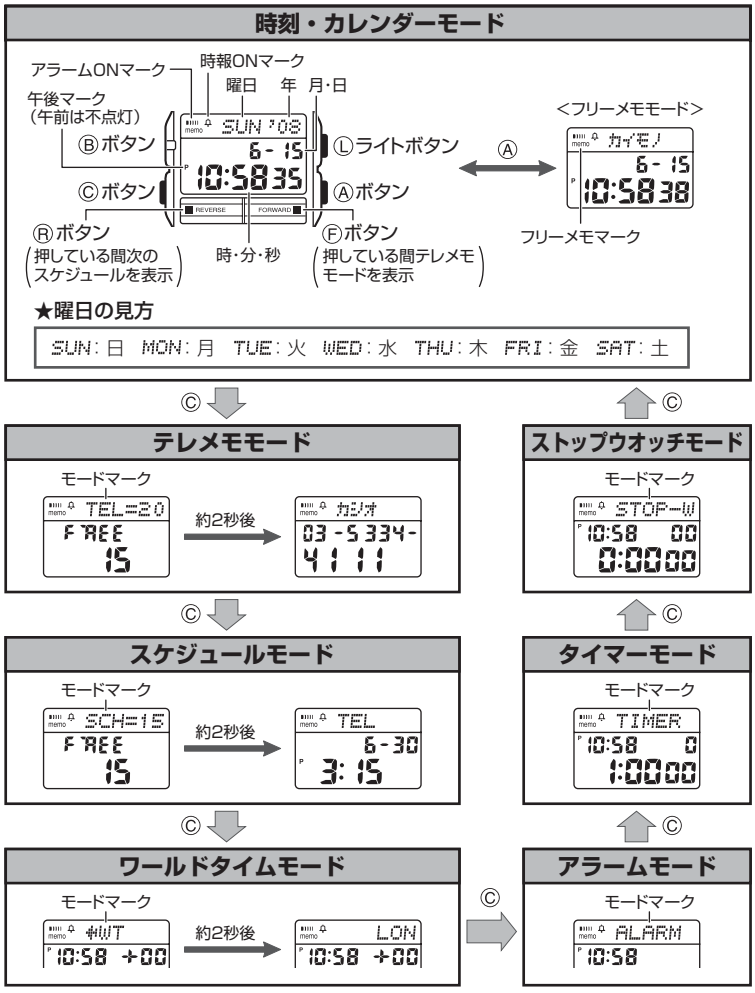
CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。（押すごとに確認音が鳴ります）

※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

※各モードでその機能を使用した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻･カレンダーモードに戻ります。



秒の合わせ方（30 秒以内の遅れ進みの修正）

1. 時刻・カレンダーモードのときに、Ⓑ ボタンを押して時刻セットモードにします。

※ 秒が点滅します。



2. 時報に合わせて、Ⓐ ボタンを押すと「秒」が点滅しながら 00 からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、 30～59のときは 1 分くりあがって、00 秒からスタートします。

※ 時報は「時報サービス電話 117 番」が便利です。



3. Ⓑ ボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



フリーメモ機能

時刻・カレンダーモードで Ⓐ ボタンを押してフリーメモモードにします。

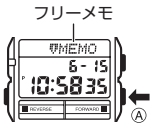
フリーメモ機能はテレメモやスケジュールの他に23文字以内のメッセージを1件入力できます。フリーメモの内容を見るときは Ⓐ ボタンを押してフリーメモモードにします。

フリーメモモードから時刻･カレンダーモードに戻すには、もう一度Ⓐボタンを押します。

■ セット（修正）の仕方

1. 時刻･カレンダーモードのときにⒶボタンを押してフリーメモモードにします。

※ フリーメモにデータが入力されているときは、その内容が表示され、入力されていないときは“ MEMO”と表示されます。



※ 入力されているデータを消去してから新たに入力する場合は、「消去の仕方」を参照してください。

※ この例はカタカナモードで行なっていますので、「入力文字について」を参照してカタカナモードにしてください。

2. Ⓑ ボタンを押すとセットモードとなり、1 桁目が点滅します。



3. セットモードのときに Ⓐ ボタンまたは Ⓛ ボタンを押してカタカナまたはアルファベットを表示させます。目的の文字を表示させたら Ⓒ ボタンを押して次の桁を点滅させ、Ⓐ または Ⓛ ボタンを押して目的の文字を表示させる操作を繰り返し、メモをセットまたは修正します。

※ 入力できる文字の内容や順番については「入力文字について」を参照してください。



※カタカナモードの場合

4. セットが終わったら Ⓑ ボタンを押すと“memo”が点灯してセット完了です。

※ フリーメモのセット後、曜日・年表示に戻すには Ⓐ ボタンを押します。



- フリーメモのセットで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まり、フリーメモモードに戻ります。

■ 消去の仕方

フリーメモモードで Ⓑ ボタンを押してセットモードにします。このとき（メモの 1 桁目が点滅）Ⓐ ボタンと Ⓛ ボタンを同時に押すと“◇CLEAR”と約 2 秒間表示され、メモ内容が消去されます。消去後は新規の入力となり、新たにメモをセットできます。セットしないときは Ⓑ ボタンを押して点滅を止めます。

※消去後曜日・年表示に戻すには、Ⓐ ボタンを押します。



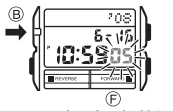
時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1. 時刻・カレンダーモードのときに、Ⓑ ボタンを押して時刻セットモードにします。

確認→“秒”が点滅していますか？

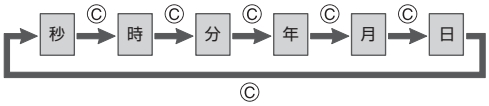
※ セットモードのとき、Ⓕ ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示（24 が点灯）とが切り替わります。

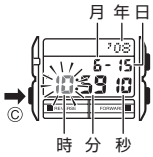


12/24時間表示切替え

2. Ⓒ ボタンを押します。

※ セットモードのとき、Ⓒ ボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
点滅個所がセット可能ですので、Ⓒ ボタンでセットしたい個所を選びます。



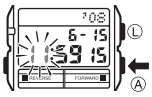


※「年」は西暦下2桁で、1985年～2029年までセットできます。

※ 曜日は年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。

3. 点滅個所が Ⓐ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓛ ボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。Ⓒ ボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐ・Ⓛボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

※「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（P）、24 時間制（24）にご注意ください。



4. セットが終わったら（どの個所が点滅していても）、Ⓑ ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

※ 時刻またはカレンダーを変更した場合は、新しい時刻・カレンダーに一番近いスケジュールから表示します。



- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。
- 時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に時刻・カレンダー表示にもどります。

入力文字について

■カタカナモードのセット

本機のフリーメモ・テレメモ・スケジュールの各機能で入力するメッセージや名前には、アルファベット・数字・記号の他にカタカナが使えます。

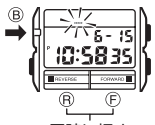
アルファベットモード：アルファベット・数字・記号のみ使用可。
カタカナモード：カタカナ・アルファベット・数字・記号が使用可。

※工場出荷時はアルファベットモードにセットされています。

1. フリーメモ・テレメモ・スケジュールの各機能モードで Ⓑ ボタンを押して、セットモードにします。

※ フリーメモ・テレメモ・スケジュールの各機能については各項目をご覧ください。

<例:フリーメモセットモード>



同時に押す

2. 表示が点滅しているときに Ⓕ ボタンと Ⓡ ボタンを同時に押すとアルファベットモードのときはカタカナモードに、カタカナモードのときはアルファベットモードに切り替わります。

＜表示例：上部メッセージ部＞
アルファベットモード→カタカナモード

ENGLIS | H→JAPANESE → ENGLISH→JA | PANESE

※ 表示は右から左に順に送られて表示されます。（スクロール表示）

※ カタカナモードからアルファベットモードの場合は、表示が“JAPANESE→ENGLISH”となります。

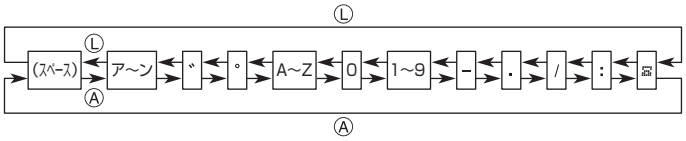
3. 表示終了後または表示送りの途中で Ⓛ・Ⓐ・Ⓒ・Ⓕ・Ⓡ のいずれかのボタンを押すと、各機能のセットモードの表示に戻ります。

- カタカナモードのときに上記操作を行なうと、アルファベットモードになります。
- 一度カタカナモードにセットすれば、再びアルファベットモードに切り替えるか、電池を交換するまで、カタカナモードが保持されます。

●表示文字

カタカナモードおよびアルファベットモードで表示される文字は、各機能のセットモードで Ⓐ ボタンまたは Ⓛ ボタンを押すごとに次のように表示されます。

※Ⓐ・Ⓛ ボタンは押し続けると早送りができます。



※アルファベットモードのときはカタカナ（ア～ン、゛、゜）は表示されません。

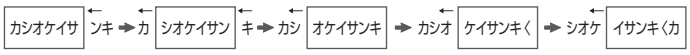
※カタカナモードのときに Ⓐ ボタンおよび Ⓛ ボタンを押し続けるとカタカナは「ア⇔カ⇔サ…⇔ワ⇔゛」と早送りされます。

※「キュ」「キョ」等の促音用小文字はありませんので、普通の大文字をお使いください。

●スクロール表示

テレメモ・スケジュール・フリーメモの各機能で入力するメッセージや名前が7文字以上のときは 1 度に 6 文字を表示し、約 1 秒後から表示が右から左に順に送られて表示します。

例：カシオケイサンキ（テレメモモード）



※“<”は最後桁と先頭桁の区切りです。

テレメモ機能の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓒ ボタンを押し、テレメモモードにします。

テレメモはカタカナ・アルファベット・数字８文字（７文字以上はスクロール表示）、数字 12 桁までの電話番号などを 50 件までメモリーできます。

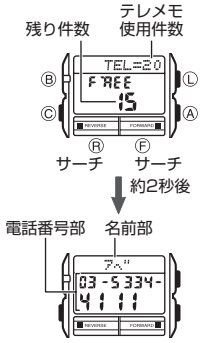
※テレメモモードに切り替えたときに表示される使用件数はシークレットエリアとの合計使用件数です。

※メモリー件数はスケジュール機能と合わせて50件までです。

テレメモモードに切り替えた直後は前回テレメモモードでサーチした内容が表示され、Ⓕ ボタンを押すごとにアルファベット順に、Ⓡボタンを押すごとに逆アルファベット順に表示されます。（自動編集機能）

※Ⓕ・Ⓡ ボタンを押し続けると早送りができます。

※名前部にカタカナをお使いの場合は「入力文字について」を参照して、カタカナモードにしてください。



※カタカナモードの場合

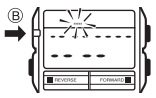
■ セット（修正）の仕方

1. テレメモモードで Ⓕ または Ⓡ ボタンを押してリセット表示または訂正したい内容を表示させます。

※ データが50件分セットされているときは、リセット表示とはならず、"◇FULL" と表示されますので、不要なデータを消去してください。（「消去の仕方」参照）

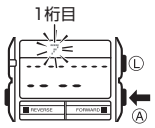


2. Ⓑ ボタンを押すと名前部１桁目が点滅します。このとき Ⓒ ボタンを押すごとに点滅個所が名前部１桁目から８桁目、電話番号部１桁目から 12 桁目までを１桁ずつ移動します。点滅個所に文字（カタカナ・アルファベット・数字・記号）が入力できます。



3. Ⓐ ボタンを押すごとにカタカナは「アイウエオ…」順に、アルファベットは「ABC…」順に表示され、Ⓛ ボタンを押すと逆の順で表示されますので、目的の文字を表示させたらⒸボタンを押して次の桁を点滅させ、Ⓐ または Ⓛ ボタンを押して目的の文字を表示させる操作を繰り返し、名前部をセットまたは修正します。

※ Ⓐ・Ⓛ ボタンにより表示される文字については「入力文字について」を参照してください。

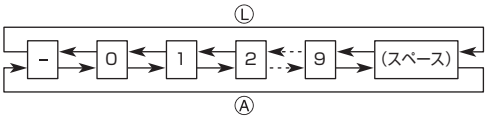


【名前部入力上の注意】

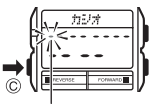
アルファベットの O（オー）を数字の 0（ゼロ）で代用するなど、形の似た文字を名前部に使うと、自動編集（並べ替え）のときに正しく並び替えられないことがありますのでご注意ください。

名前部の入力が終わったら、Ⓒボタンを押して電話番号部を点滅させ、Ⓐ または Ⓛ ボタンで番号をセットまたは修正します。

※Ⓐ または Ⓛ ボタンを押すごとに以下の順で数字が切り替わります。

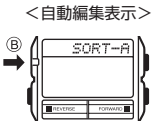


例）「カシオ」を入力する



4. セットが終わったら Ⓑ ボタンを押すと "自動編集" が行なわれ、セット完了です。

※ 自動編集は名前部の８文字を１桁目から比較して行なわれ、順番はスペース、ア～ン、゛、゜、A～Z、0～9、－、・、／、：、▣ の順となります。



- テレメモのセットで表示を点滅させたままにした場合は、2～3分後、自動的にテレメモモードの表示に戻ります。

●連続セット

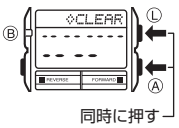
1度に数件の電話番号をメモリーさせるときは、*3.*の操作で番号をセットした後、Ⓕ ボタンを押すとリセット表示になりますので、このとき *3.* の操作をくりかえし行なってメモリーできます。すべてのセットが終わったら、最後に Ⓑ ボタンを押します。

●スクロール表示

テレメモの名前部の入力文字数は８文字ですが、７文字以上入力した場合は Ⓕ または Ⓡ ボタンでサーチした後、１度に６文字を表示し、約１秒後から表示が右から左に順に送られて（スクロール）表示します。（「入力文字について」参照）

■ 消去の仕方

テレメモモードで Ⓕ または Ⓡ ボタンを押して消去したい内容を表示させ、Ⓑ ボタンを押します。このとき（名前部１桁目が点滅）Ⓐ・Ⓛ ボタンを同時に押すと "◇CLEAR" と約２秒間表示され、表示内容が消去されます。消去後はリセット表示となり新たにセットできます。セットしないときは Ⓑ ボタンを押して点滅を止めます。



■ シークレットゾーンについて

シークレットゾーンにメモリーした電話番号などは、暗証番号を入力しないと見ることができません。他人に見られたくない番号などはこのゾーンにメモリーしておくと安心です。

●暗証番号のセット

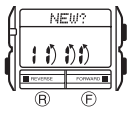
まだ暗証番号をセットしていないときは、まず暗証番号をセットします。

1. テレメモモードで Ⓐ ボタンを押すと暗証番号のセットとなり、４桁の数字が０～９で回転します。



2. Ⓕ ボタンを押すごとに左から1桁ずつ数字が止まりますので、任意の番号で止めます。もし、間違った数字で止まったときは、Ⓡ ボタンを押すと直前に止まった数字が再び回転します。

※ 暗証番号は忘れにくい番号にしてください。



3. 暗証番号を入力した後は Ⓕ ボタンを押すとリセット表示となり、シークレットゾーンへの入力となります。このとき通常のテレメモモードと同じにⒷボタンを押して名前部を点滅させ、新たなデータを入力できます。

※ 入力の方法は通常のテレメモ機能を参照してください。



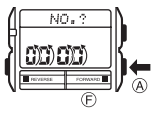
4. シークレットゾーンへの入力が終わったら、Ⓐ ボタンを押すと通常のテレメモモードに戻ります。

※ これでシークレットゾーンから抜け出したことになります。シークレットゾーンにセットしたデータを見たり、新たにシークレットゾーンにデータをセットしたいときは、再び暗証番号を入力しなくてはなりません。

●シークレットゾーンに入るには

暗証番号をすでにセットしているとき。

1. テレメモモードで Ⓐ ボタンを押すと暗証番号をたずねてきますので、セットの時と同様に Ⓕ ボタンで４桁の数字を入力します。



2. 暗証番号を入力した後 Ⓕ ボタンを押すとシークレットゾーンとなります。もし、入力した数字と暗証番号が間違っているときは "ERROR" と表示され、約２秒後再び暗証番号の入力に戻ります。

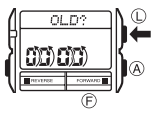


3. シークレットゾーンでは通常のテレメモモードと同じに Ⓕ・Ⓡ ボタンによるサーチや Ⓑ ボタンによる入力ができます。

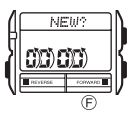
- シークレットゾーンから通常のテレメモモードに戻すには Ⓐ ボタンを押します。

●暗証番号の変更

1. １度セットした暗証番号を変更したいときは、テレメモモードで Ⓐ ボタンを押して暗証番号の入力状態（"No.?" 表示）にし、Ⓛ ボタンを押すと現在セットされている暗証番号の入力（"OLD?" 表示）となりますので、Ⓕ ボタンで４桁の数字を止めて暗証番号を入力します。



2. 現在セットされている暗証番号を入力した後 Ⓕ ボタンを押すと、新たな暗証番号の入力となりますので、新規セットと同様に Ⓕ ボタンで４桁の数字を止め、任意の暗証番号をセットします。新たな番号がセットされると、シークレットゾーンとなり変更は完了です。



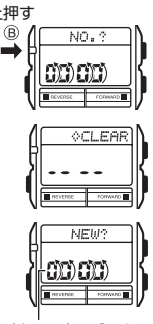
★暗証番号を忘れたときは…

※この操作によりシークレットゾーンにメモリーされていたデータは暗証番号とともにすべて消去されますので、ご注意ください。

テレメモモードでⒶボタンを押して暗証番号の入力状態にします。このときⒷボタンを3秒以上押し続けると“◇CLEAR”を約1秒間表示して（暗証番号とシークレットゾーンにメモリーされていたデータが消去されます）、新たな暗証番号のセットとなります。

※通常のテレメモモードにメモリーされていたデータは消去されません。

もし、暗証番号をセットしないときはⒶボタンを押します。



スケジュール機能の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがってⒸボタンを押し、スケジュールモードにします。

スケジュール機能はメッセージ11文字（表示は7文字以上のときは、スクロール）、月・日・時・分など最大50件までメモリーでき、セット日のセット時刻になるとメッセージとともに20秒間電子ブザーが鳴ります。

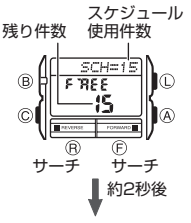
また、時刻・カレンダーモードではⓇボタンを押している間、現在時刻以降で直近のスケジュールを表示する機能もついています。

※メモリー件数はテレメモと合わせて50件までです。

●スケジュールのサーチ

スケジュールモードでⒻボタンまたはⓇボタンを押すごとにスケジュールが順次表示されます。

※Ⓕ・Ⓡボタンとも押し続けると早送りができます。



●スケジュールの自動消去

基本時計の日付が更新されるとき、当日の過ぎ去ったスケジュールが自動的に消去されます。

※プリセットメッセージの“❖ANV”と“❖BIRTH”は当日が過ぎても自動消去されません。（*6.*プリセットメッセージ参照）



■ スケジュールのセット（修正）のしかた

1. **スケジュールモードでⒻまたはⓇボタンを押してリセット表示または訂正したい内容を表示させます。**

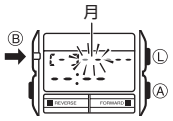
※データが50件分セットされているときは、リセット表示とはならず、“◇FULL”と表示されますので、不要なデータを消去してください。（「消去の仕方」参照）



2. **Ⓑボタンを押すとまず「月」が点滅します。このときⒶボタンを押すと表示が1つ進み、Ⓛボタンを押すと1つ戻りますので、月を合わせます。**

※Ⓐ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。

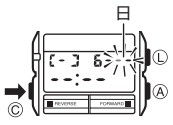
※セットできる月日は基本時計の当日から1年間です。（今日が6月15日の場合は、翌年の6月14日までセット可）



3. **月を合わせ終わったらⒸボタンを押して「日」を点滅させます。「日」も月と同じようにしてⒶボタン、Ⓛボタンで合わせます。**

※月のみをセットした場合は「1日」に、日のみをセットした場合は「1月」に自動セットされます。

※月日ともセットしない場合はスケジュールが無効となります。



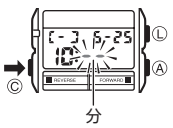
4. **日を合わせ終わったらⒸボタンを押して「時」を点滅させます。「時」も同じようにしてⒶボタン、Ⓛボタンで合わせますが、午前（不点灯）／午後（PM）に注意してください。**

※時刻表示を24時間制表示にしているときはスケジュールモードでも24時間制で表示されます。



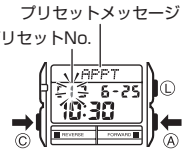
5. **時を合わせ終わったらⒸボタンを押して「分」を点滅させます。「分」も同じようにしてⒶボタン、Ⓛボタンで合わせます。**

※時分をセットしない場合は午前12時が自動セットされます。



6. **分を合わせ終わったらⒸボタンを押すとプリセットメッセージによるセットとなります。**

※プリセットメッセージとはよく使う7つのメッセージが組み込まれており、Ⓐまたは Ⓛ ボタンで1～7の番号を指定するだけで自動的にメッセージを入力できる便利な機能です。



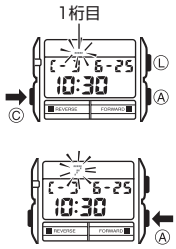
1	APPT (appointment)	約束	5	TRAVEL	旅行（外出）
2	DOCTOR	医者（通院）	6	❖ ANV (anniversary)	記念日
3	MEETING	会議	7	❖ BIRTH (birthday)	誕生日
4	TEL	電話（連絡）			

※プリセットメッセージの“❖ANV”と“❖BIRTH”は日時が過ぎても自動消去されないメッセージですので、記念日や誕生日に使用すると便利です。（消去については「消去の仕方」を参照してください。）

プリセットメッセージを使わないときは“[–]”表示のままⒸボタンを押してメッセージ入力に進みます。

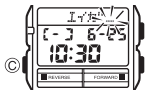
7. **メッセージを自分で入力するときやプリセットメッセージに続けて入力するときはⒸボタンを押してメッセージ1桁目を点滅させ、ⒶまたはⓁボタンでカタカナ・アルファベットまたは数字をセットします。**

※Ⓐ・Ⓛボタンにより表示される文字については「入力文字について」を参照してください。

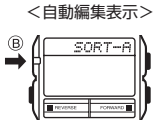


8. **Ⓒボタンを押すごとに入力個所が1桁ずつ移動しますので、Ⓐ・Ⓛボタンで選び、Ⓒボタンで移動させながらメッセージを入力します。**

※入力個所が行き過ぎた場合は、Ⓒボタンを押して月・日・…の順に点滅を送り、訂正個所に合わせます。



9. **セットが終わったらⒷボタンを押すと“自動編集”が行なわれ、現在時刻以降から「月・日・時・分」の近い順に並び替えられ、セット完了です。**



- スケジュールのセットで表示を点滅させたままにした場合は、2～3分後、自動的にスケジュールモードの表示に戻ります。

●連続セット

1度に数件のスケジュールをメモリーさせるときは、*8.*の操作でメッセージをセットした後、Ⓕボタンを押すとリセット表示となりますので、このとき*2.*～*8.*の操作をくりかえし行なってメモリーできます。すべてのセットが終わったら、最後にⒷボタンを押します。

●スケジュールの報知方法

基本時計（時刻・カレンダーモード）の月日・時刻とスケジュールの月日・時刻が一致したときは、メッセージと電子ブザー（20秒間）で報知します。

※メッセージが7文字以上入力されているときは、右から左に流れて（スクロール）表示されます。（「入力文字について」のスクロール表示参照）



●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸⓇⒻのいずれかのボタンを押します。

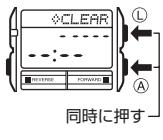
※メッセージの表示は20秒間続きます。

●モニターアラーム

スケジュールモードでⒶボタンを押し続けると、電子ブザーが鳴ります。

■ 消去の仕方

スケジュールモードでⒻまたはⓇボタンを押して消去したい内容を表示させ、Ⓑボタンを押します。このとき（表示が点滅）Ⓐ・Ⓛボタンを同時に押すと“◇CLEAR”と約2秒間表示され、表示内容が消去されます。消去後はリセット表示となり新たにセットできます。セットしないときはⒷボタンを押します。



ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界 24 都市の時刻を知ることができます。

都市コード	都市名	時差	都市コード	都市名	時差
― ― ―	―	−11	PAR	パリ	+1
HNL	ホノルル	−10	CAI	カイロ	+2
ANC	アンカレッジ	−9	MOW	モスクワ	+3
LAX	ロサンゼルス	−8	DXB	ドバイ	+4
DEN	デンバー	−7	KHI	カラチ	+5
CHI	シカゴ	−6	DAC	ダッカ	+6
NYC	ニューヨーク	−5	BKK	バンコク	+7
CCS	カラカス	−4	HKG	香港	+8
RIO	リオデジャネイロ	−3	TYO	東京	+9
― ― ―	―	−2	SYD	シドニー	+10
― ― ―	―	−1	NOU	ヌメア	+11
LON	ロンドン	±0	WLG	ウェリントン	+12

※この表は2006年12月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードでⒻボタンまたはⓇボタンを押すごとに各標準時を表示します。
また、時刻・カレンダーモードよりモードを切り替えた直後は、前回ワールドタイムモードで最後にサーチした都市の標準時が表示されます。

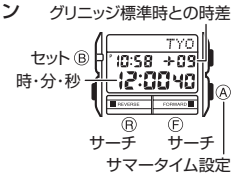


■ ワールドタイムの合わせ方

24ヵ所のうち 1 つの標準時をセットすれば時差にしたがい他の標準時も自動的にセットされます。時刻のセットの仕方は時刻・カレンダーモードの時刻セットと同様ですので参考にしてください。

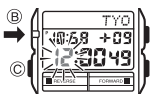
例）都市コード“TYO”（東京）を 10 時 58 分にセットする。

1. ワールドタイムモードのときにⒻボタンまたはⓇボタンを押して“TYO”（東京）をサーチします。



2. Ⓑ ボタンを押してセットモードにします。

※ セットモードのとき、Ⓒ ボタンを押すごとに点滅個所が「時」と「分」を移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓒ ボタンでセットしたい個所を選びます。
※ 秒および 12/24 時間制は時刻・カレンダーモードの時刻と連動しています。



3. 点滅個所がⒶボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。
Ⓒ ボタンでセットしたい個所を選びⒶ・Ⓛ ボタンで表示をセットします。



4. セットが終わったら（どの個所が点滅していても）、Ⓑ ボタンを押すとセット完了です。

- ワールドタイムセットモードで表示を点滅させたまま 2～3 分間放置すると、自動的にワールドタイムモードの表示に戻ります。

■ サマータイムの設定

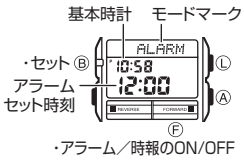
ワールドタイムモードでⒻボタンまたはⓇボタンを押してサマータイムをセットしたい都市をサーチし、Ⓐ ボタンを 1～2 秒間押し続けるとサマータイムマーク“✻”が点灯して、サマータイム（＋ 1 時間）時刻となります。
サマータイムを解除したいときは、もう一度 Ⓐ ボタンを 1～2 秒間押し続けてサマータイムマーク“✻”を消します。



アラームの使い方

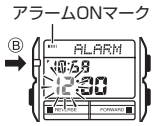
「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位で時・分がセットでき、セット時刻になると 20 秒間電子ブザーで知らせてくれます。
また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。
※時刻アラーム・時報とも「時刻・カレンダー表示」で表示される時間にしたがいます。

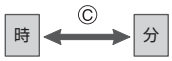


●セットのしかた

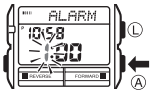
1. アラームモードでⒷボタンを押すと「時」が点滅し、アラーム ON マークが点灯します。



2. Ⓒ ボタンを押すごとに点滅個所が「時」と「分」を移動します。



3. 点滅個所がⒶボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。



※「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（P）にご注意ください。
※ 基本時計の時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に 24 時間制となります。
Ⓒ ボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐ・Ⓛ ボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時・分を合わせてください。

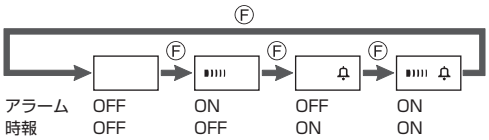
4. セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押してセット完了です。



- アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3 分後自動的にアラームモードの表示に戻ります。

●アラーム・時報の ON／OFF

アラームモードのとき、Ⓕ ボタンを押すごとにアラーム ON マーク（▮▮▮）、時報 ON マーク（🔔）が点灯・不点灯をくりかえします。アラーム ON マークまたは時報 ON マークが点灯しているときに各々鳴ります。



●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるには ⓁⒶⒸⓇⒻ のいずれかのボタンを押します。

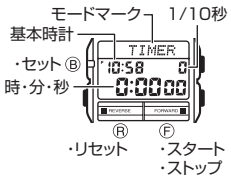
●モニターアラーム

アラームモードで Ⓐ ボタンを押し続けると、電子ブザーが鳴ります。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは分単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると 10 秒間電子ブザーが鳴ります。

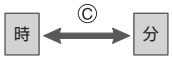


●セットのしかた

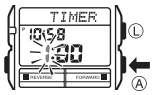
1. タイマーモードのときに Ⓑ ボタンを押すと「時」が点滅します。



2. Ⓒ ボタンを押すごとに点滅個所が「時」と「分」を移動します。



3. 点滅個所が Ⓐ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓛ ボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。
Ⓒ ボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐ・Ⓛ ボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時・分を合わせてください。



※ 持ち時間を 24 時間にセットするときは表示を“0：00”にします。

4. セットが終わったら、Ⓑ ボタンを押してセット完了です。Ⓕ ボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を 1/10 秒単位で表示します。

※ 操作確認音が鳴ります。



●ロスタイムがある場合は

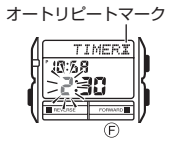
減算計測中、Ⓕ ボタンはスタート／ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。

●リピート（繰り返し）計測

タイムアップ後（残り時間0）、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓕ ボタンを押して計測ストップ後 Ⓡ ボタンを押します。

●オートリピート機能（自動繰り返し計測）

持ち時間のセットのとき（表示が点滅中）、Ⓕ ボタンを押すごとにオートリピートマーク“ ”が点灯・不点灯を繰り返します。オートリピート計測ではタイムアップ後も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。



●鳴っている電子ブザーを止めるには

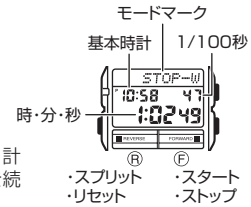
鳴っている電子ブザーを止めるには、ⓁⒶⒸⓇⒻ いずれかのボタンを押します。

- タイマーセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的にタイマーモードの表示に戻ります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測でき、以後自動的に 0 に戻って計測し続けます。



●計測のしかた

Ⓕ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。計測中 Ⓡ ボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。（“SPLIT”表示）
Ⓕ・Ⓡ ボタンとも押すと操作確認音が鳴ります。

★通常の計測

Ⓕ → Ⓕ → Ⓡ
スタート　ストップ　リセット

積算計測… ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓕ ボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

★スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓕ → Ⓡ → Ⓡ → Ⓕ → Ⓡ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

★1着・2着のタイム計測

Ⓕ → Ⓡ → Ⓕ → Ⓡ → Ⓡ
スタート　1着がゴール（1着タイム表示）　2着がゴール　2着タイム表示　リセット